

カジカガエル



鳥取県RDB掲載種：その他重要種(OT)
赤谷にて

(撮影：桐原佳介)

■清流のバロメーター

世界中で日本でしか会えないカエルが、南部町には6種類います。そのひとつが、清流のバロメーター的存在であるカジカガエルです。漢字で書くと「河鹿蛙」。美しいその鳴き声は、まるで口笛でさえずっているかのようなラブコール。5月から8月頃にか

けて聞くことができます。南部町では、主に南さいはく地区の支流で生息が確認されています。

■吸盤に触ってみて！

鳴いているカジカガエルが、どこにいるのかと目をこらすもその姿はなかなか見えません。体の模様が川の石にそっくりで、見事な擬態です。そんな見つけにくいカエルですが、娘が川遊びをしていた時、偶然カジカガエルを捕まえたのです。その吸盤の吸い付く力にとっても驚きました。清流、渓流で生きているカジカガエル、流されないように発達した指先にある吸盤は、簡単には離れないくらい、私の手の皮膚にぴったりと密着していました。これは、凶鑑や映像では味わえない体験、もしカジカガエルに触る機会があったら、是非吸盤吸着実験を体感してみてください。

■観光資源にも

東京にある高尾山の麓では、カジカガエルの鳴き声を

聞きながら食事をするツアーが実施されたことがあります。鳥取県内では、三朝町の町おこしにカジカガエルが活用されているのも有名です。

都市部の方にとっては、イベントに参加してでも聞いてみたいネイチャーサウンド。町の観光資源として、快適にカジカガエルを鑑賞できるスポットができ、特産の美味しいものを頂きながら、川面を眺めるのもいい商品になりそうです。

数年前の七夕の日、日南町でヒメボタルを見に行きました。そこでは、森のヒメボタルの光、川のゲンジボタルの光、田んぼのヘイケボタルの光、そして空には無数の星の光、そこにカジカガエルのBGMという自然が織りなす五重奏を堪能することができました。南部町にも、もしかしたらそんな場所がどこかにあるかもと、それぞれの生息地をまた調査したいところです。

自然観察指導員 桐原真希

祐生出合いの館【緑水湖畔】インフォメーション ■開館時間：9時～17時 ■休館日：毎週火曜日

《法勝寺電車にまつわる写真をお貸しください》

6月28日(土)から8月29日(月)まで、特別展「秘蔵写真でたどる思い出の法勝寺電車展」を企画しております。みなさまの心の中には、法勝寺電車の勇姿とその時代が刻まれていることと思います。当館ではみなさまのご所蔵の写真をお借りして展示し、なつかしい時代を思い起こしていただければと思っています。どうかご協力いただきますようお願いいたします。

※写真に関するお問い合わせ等は祐生出合いの館(☎66-4755)まで

■安部朱美創作人形展【開催期間：4月27日～6月24日】詳しくは14ページをご覧ください



手間駅舎